

令和元年（2019年）5月30日

報道関係者各位

# いにしえのひびきにのせて チェンバロコンサート ラモーのクラヴサン・コンセール～調和の華～

（公財）宝塚市文化財団では、9月20日（金）に宝塚ベガ・ホールにおいて、標題のコンサートを開催します。

このチェンバロコンサートは、ベガ・ホール所有のチェンバロを身近に楽しんでいただくためにロビーコンサートとして2012年に始まりました。より多くのお客さまにご鑑賞いただくため、2017年6月より会場をホールに移して開催しており、器楽とのアンサンブル、バロックダンスとの共演など、毎回異なるテーマでお楽しみいただいています。

今回は18世紀前半フランス王室作曲家として活躍したジャン＝フィリップ・ラモー（1683－1764）の作品を、チェンバロ、バロック・ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバの古楽器アンサンブルでお届けします。副題のクラヴサンは現代フランス語でチェンバロ、コンセールは管弦楽組曲を意味する用語です。

演奏家による曲の解説や楽器の説明を聞きながら、フランス宮廷で奏でられていた華やかなバロック音楽をベガ・ホールでお楽しみください。

貴媒体におかれましても、この公演を取り上げていただければ幸いです。

1 日時 令和元年（2019年）9月20日（金） 14:00開演（13:30開場）

2 会場 宝塚ベガ・ホール（阪急宝塚線清荒神駅下車すぐ）

3 出演 中田 聖子（チェンバロ）  
河内 知子（バロック・ヴァイオリン）  
中西 歩（ヴィオラ・ダ・ガンバ）

4 入場料 前売800円（当日1,000円）



これまでの公演より

5 曲目 ジャン＝フィリップ・ラモー作曲  
「新しいクラヴサン組曲」より『ガヴォット』『凱旋』、「クラヴサン・コンセール第5番」ほか

6 発売日 6月28日（金）10:00～

7 主催 （公財）宝塚市文化財団

8 お問い合わせ 宝塚ベガ・ホール（水曜休館） 事業担当：池田・浅井  
TEL:0797-84-6192

## 出演者プロフィール

### 中田 聖子(なかつた・せいこ) チェンバロ

相愛大学音楽学部器楽学科卒業。ワルシャワ・ショパン音楽院(現ショパン音楽大学)にて研修。国内外の演奏家よりチェンバロと通奏低音を学ぶ。関西を拠点に、東京、名古屋、広島、福岡など各地において演奏活動を行っている。2003年よりリサイタルを毎年度開催し、これまでにJ.S.バッハの「パルティータ」や「フランス組曲」の全曲演奏会、「ゴルトベルク変奏曲」を含むオールバッハプログラムのほか、17世紀作品からバッハが受けた影響を伝えるプログラムなどでの公演を行っている。その演奏には「安定した高い技巧」「躍動感ある演奏」と定評があり、新聞や音楽誌「音楽の友」の演奏評でも高い評価を受けている。通奏低音奏者としても古楽器奏者や古楽歌手とのアンサンブル共演多数。2012-13年に上野の森美術館を皮切りに各地で開催された「ルドゥーテの『薔薇図譜』展」のBGM演奏を手がけ、CD「ルドゥーテのためのチェンバロアルバム『愛の神殿』」をリリース。2005-6年度エリザベト音楽大学大学院非常勤講師を勤める。日本音楽学会正会員。日本チェンバロ協会正会員。日本イタリア古楽協会会員。

オフィシャルウェブサイト KLAVI <http://www.klavi.com>



### 河内 知子(かわち・ともこ) バロック・ヴァイオリン

兵庫県立西宮高校音楽科卒業、京都市立芸術大学音楽学部弦楽器専修卒業、同大学院修了。1994年、アメリカ、インディアナ大学に留学。在学中にバロック・ヴァイオリンへ転向、パフォーマーディプロマ取得。その間に大学内のヴァイオリン製作のコースも始め、2001年より助手を務める。モダン・ヴァイオリンを岩淵龍太郎、梅原ひまり、バロック・ヴァイオリンをスタンリー・リチー、ゲサ・コルデス、室内楽をナイジェル・ノース、ヴァイオリン製作をトーマス・スパークス各氏に師事。現在、兵庫教育大学大学院非常勤講師。演奏には本人作のバロック・ヴァイオリン、フランチェスコ・ルジェリのレプリカを使用。古楽デュオ「sepia」、初期バロックアンサンブル「IL Fiore」、弦楽古楽アンサンブル「La Guirlande」メンバー。CD「ルネッサンスからバロックへ 1570-1630年 イタリア」をリリース。

オフィシャルウェブサイト <http://tomokokawachi.blog.fc2.com/>



### 中西 歩(なかにし・あゆみ) ヴィオラ・ダ・ガンバ

大阪音楽大学音楽学部作曲学科楽理専攻卒業。在学中よりヴィオラ・ダ・ガンバと古楽アンサンブルを佐野健二、坂本利文の両氏に師事。インスブルック夏期国際古楽祭にて、ヴィーラント・クイケン氏のコースを受講。また、2000年よりジョナサン・マンソン氏の指導を定期的に受ける。大阪音楽セミナー、豊中市・大阪音楽大学開放講座、ムジークフェストなら、高齢者大学講座、神戸市アートベンチャー事業入選企画等に出演の他、ジャンルを超えたアーティストとのコラボレーション企画を精力的に展開するなど、中世、ルネサンス、バロック音楽奏者として活動している。2008年度のフェニックス・エヴォリューションシリーズに「Playford 1/10 英国・幻想世界の舞曲」が選ばれ、同ホールにて上演。「オルティス・コンソート」「アンサンブル・トリーヌ」「ル・ティサーージュ」メンバー。CD「ラフティ・タフティ」をリリース。

